

勸進橋

貫つませ常見檢校と號し、座頭衆の官配を取、年來都に樂々と在之處に、小座頭共申様には、分限の者如此檢校に成候は、法度計にて今迄も長久に相續候に耽。金銀賄に猥子細無勿體、其上ばかりを重仕候て、金を取候段迷惑の由、今度信長公へ訴訟申上處、被分聞食檢校共條々曲事の旨被仰出、可被成御成敗の處、種々御佗言申、黃金二百枚致進上、御赦免候、則此代物を以て、宇治川平等院の前に橋を懸可申の旨、宮内卿法印、山口甚介兩人に被仰付爲末代に候間、丈夫に可懸置旨御詫候訖、

〔濫觴抄下〕清水寺橋鴨川

同年○保延六年五月十五日癸酉供養之、洛中貴賤知識造之、少僧都覺譽爲□□於本寺寶前修之、

〔雍州府志八古蹟〕五條橋

在五條東賀茂川、斯橋始每朽腐清水寺本願成就院爲勸進聖、請諸人聚米錢而經營之、是謂勸進橋。豐臣秀吉公時被營之以來到今、自公方家被命之、是又謂公儀橋。

〔濫觴抄下〕祇園橋

仁平四年○久壽甲戌三月廿九日、於寶前供養之、同一萬鋪藥師像、僧妙勸進洛中新造之、○又見百練抄

〔今昔物語三十一〕鳥羽鄉聖人等造大橋供養語第二

今ハムカシ鳥羽ノ村○山城ニ大キナル橋アリケリ、コレハ昔ヨリ桂川○葛野郡ニワタセルナリ、ソノ橋ヤブレテ人ワタルコトナカリケリ、中比一人ノ聖人アリテ、此ノ橋ヤブレテ人皆河ヲワタルヲナゲキテ、往還ノ人ヲタスケンガタメニ、アマ子クモロノノ人ヲ催シテ、知識ト云事ヲ以テ、其ノ橋ヲ渡シテケリ、其後其ノ知識ノモノオホクノヨリケレバ、聖人ソレヲモト、シテ亦人ヲ催シ、其ノ村ラノ人ノ與力ヲタノミテ、大キニ法會ヲモウケテ供養シケリ、其講師ニハ□□トイフ人ヲナム請ジタリケル、請僧ハ四色ヲ調テ百僧ヲ請ジタリ、大山寺三井寺ノヤンゴトナキ